

議題 2

令和5年3月28日
 学校教育指導第一課
 学校教育指導第二課

令和4年度「広島市児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について（報告）

1 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要

(1) 調査目的

- ア 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査対象校数等

ア 調査対象

広島市立小学校第5学年児童、広島市立広島特別支援学校小学部第5学年児童
 広島市立中学校第2学年生徒、広島市立広島中等教育学校（前期課程）第2学年生徒
 広島市立広島特別支援学校中学部第2学年生徒

イ 調査対象校数及び調査人数

| 校種 | 小学校 | 中学校 | 中等教育学校 | 特別支援学校 | 合計 |
|-----------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 調査対象校数(校) | 141 | 63 | 1 | 1 | 206 |
| 調査人数(人) | 9,842 | 7,785 | 112 | 0 | 17,739 |

(3) 調査実施期間

令和4年4月～7月

(4) 調査事項

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 実技調査

| 種目 | 体力要素 | 小学校第5学年 小学部第5学年 | 中学校第2学年 甲学部第2学年 | |
|------------------------|---------|--------------------|--------------------|------|
| 握力 | 筋力 | ○ | ○ | |
| 上体起こし | 筋力・筋持久力 | ○ | ○ | |
| 長座体前屈 | 柔軟性 | ○ | ○ | |
| 反復横とび | 敏しょう性 | ○ | ○ | |
| 20mシャトルラン(往復持久走) | 全身持久力 | ○ | ○ | } 選択 |
| 持久走(男子1,500m・女子1,000m) | | — | ○ | |
| 50m走 | スピード | ○ | ○ | |
| 立ち幅とび | 瞬発力 | ○ | ○ | |
| ソフトボール投げ | 巧ち性・瞬発力 | ○ | — | |
| ハンドボール投げ | | — | ○ | |

※ コロナ禍での実施のため、感染のリスクが高い場合には、実施可能なテスト項目のみの実施

(イ) 質問紙調査(小学校18項目 中学校18項目)

運動習慣、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

イ 学校に対する質問紙調査(小学校19項目 中学校23項目)

児童生徒の体力向上に係る取組、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

ウ 教育委員会に対する質問紙調査(8項目)

子供の体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

2 全国体力・運動能力、運動習慣等状況調査の結果

(令和3年度の本市平均値と比較して下がった項目については網掛け)

(1) 実技調査の結果

| | | 握力 (kg) | | | | 上体起こし (回) | | | | 長座体前屈 (cm) | | | |
|----|-----|---------|------|------|------|-----------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 |
| R4 | 全国 | 16.2 | 16.1 | 29.0 | 23.2 | 18.9 | 18.0 | 25.7 | 21.7 | 33.8 | 38.2 | 43.9 | 46.1 |
| | 広島市 | 15.7 | 15.6 | 28.6 | 22.6 | 18.5 | 17.7 | 25.9 | 21.9 | 33.2 | 37.7 | 43.1 | 45.7 |
| R3 | 全国 | 16.2 | 16.1 | 28.8 | 23.4 | 18.9 | 18.1 | 25.9 | 22.2 | 33.5 | 37.9 | 43.6 | 46.2 |
| | 広島市 | 15.6 | 15.7 | 28.4 | 23.0 | 18.9 | 18.3 | 26.2 | 23.0 | 32.7 | 37.5 | 44.3 | 46.8 |

| | | 反復横跳び (点) | | | | 20mシャトルラン (折り返し数) | | | | 持久走 (秒) | | | |
|----|-----|-----------|------|------|------|-------------------|------|------|------|---------|------|-------|-------|
| | | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 |
| R4 | 全国 | 40.4 | 38.7 | 51.1 | 45.8 | 45.9 | 37.0 | 78.1 | 51.6 | | | 409.8 | 302.9 |
| | 広島市 | 39.4 | 37.7 | 51.3 | 45.6 | 43.5 | 33.4 | 75.8 | 48.9 | | | 413.3 | 314.6 |
| R3 | 全国 | 40.4 | 38.7 | 51.2 | 46.3 | 46.9 | 38.2 | 79.5 | 53.9 | | | 407.2 | 298.3 |
| | 広島市 | 39.9 | 38.5 | 51.6 | 46.5 | 44.4 | 34.7 | 79.4 | 53.2 | | | 405.0 | 300.2 |

| | | 50m走 (秒) | | | | 立ち幅跳び (cm) | | | | (小) ソフトボール投げ (m) (中) ハンドボール投げ (m) | | | |
|----|-----|----------|------|------|------|------------|-------|-------|-------|--------------------------------------|------|------|------|
| | | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 |
| R4 | 全国 | 9.5 | 9.7 | 8.1 | 9.0 | 150.9 | 144.6 | 196.9 | 167.0 | 20.3 | 13.2 | 20.3 | 12.5 |
| | 広島市 | 9.5 | 9.7 | 7.9 | 8.8 | 150.3 | 143.7 | 194.8 | 165.1 | 22.4 | 13.7 | 20.7 | 12.8 |
| R3 | 全国 | 9.5 | 9.6 | 8.0 | 8.9 | 151.4 | 145.2 | 196.3 | 168.0 | 20.6 | 13.3 | 20.2 | 12.6 |
| | 広島市 | 9.4 | 9.6 | 7.9 | 8.8 | 151.1 | 144.3 | 194.4 | 167.4 | 22.7 | 14.1 | 20.6 | 13.3 |

| | | 体力合計点 (点) | | | |
|----|-----|-----------|------|------|------|
| | | 小5男子 | 小5女子 | 中2男子 | 中2女子 |
| R4 | 全国 | 52.3 | 54.3 | 41.0 | 47.4 |
| | 広島市 | 51.9 | 53.5 | 40.9 | 46.9 |
| R3 | 全国 | 52.5 | 54.7 | 41.1 | 48.4 |
| | 広島市 | 52.4 | 54.3 | 41.2 | 49.1 |

【結果】

- 今年度調査によると、全国的に体力合計点は低下しており、本市においても同様の結果となった。
- 令和4年度の全国平均値と比較すると、小学校では男女ともに、「50m走」、「ソフトボール投げ」の2種目、中学校では男子において、「上体起こし」、「反復横とび」、「50m走」、「ハンドボール投げ」の4種目、女子において、「上体起こし」、「50m走」、「ハンドボール投げ」の3種目が全国平均を上回った。
- 本市においては、昨年度と同様、小・中学校男女ともに「20mシャトルラン」「持久走」(全身持久力)の数値が低く、特に、中学校男女の数値は令和3年度の本市平均値と比較し、大きく低下している。

(2) 質問紙調査の結果

※ 体力合計点と関連を示した質問紙項目

| 項目 | 対象 | 広島市 | | | 全国 | |
|--|-------------------------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | H31 | R3 | R4 | R4 | |
| 体育・保健体育の授業が楽しいですか。 (楽しい、やや楽しい、あまり楽しくない、楽しくない) | 楽しい、 やや楽しい | 小5男子 | 94.8% | 94.4% | 94.3% | 94.0% |
| | | 小5女子 | 91.8% | 90.2% | 89.2% | 89.5% |
| | | 中2男子 | 92.3% | 93.5% | 93.1% | 90.7% |
| | | 中2女子 | 86.4% | 86.4% | 87.7% | 83.9% |
| 学校の体育、保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間運動していますか。 (月口分、火口分、水口分、木口分、金口分、土口分、日口分) | 1週間の総 運動時間 420分以上 | 小5男子 | 57.0% | 49.9% | 53.1% | 50.1% |
| | | 小5女子 | 34.5% | 30.4% | 32.7% | 29.2% |
| | | 中2男子 | 80.1% | 76.1% | 74.6% | 78.1% |
| | | 中2女子 | 60.3% | 54.5% | 52.6% | 57.7% |
| 学習以外で1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。 (5時間以上、4～5時間、3～4時間、2～3時間、1～2時間、1時間未満、見ない) | スクリーン タイム 2時間未満 | 小5男子 | 36.1% | 34.7% | 38.2% | 38.3% |
| | | 小5女子 | 46.7% | 43.6% | 46.6% | 46.0% |
| | | 中2男子 | 33.4% | 25.3% | 22.8% | 27.1% |
| | | 中2女子 | 36.2% | 26.4% | 25.0% | 29.7% |
| 朝食を毎日食べますか。 (毎日食べる、食べない日もある、食べない日が多い、食べない) | 毎日食べる | 小5男子 | 86.3% | 83.4% | 83.5% | 82.3% |
| | | 小5女子 | 85.8% | 82.4% | 81.1% | 81.1% |
| | | 中2男子 | 84.7% | 83.4% | 83.7% | 80.1% |
| | | 中2女子 | 81.9% | 79.8% | 76.5% | 73.6% |

【結果】

- 「体育・保健体育の授業が楽しい（やや楽しい）と回答した児童生徒の割合」は、令和3年度と比較すると、小・中学校の男子及び小学校の女子において減少している。特に、小学校においては、平成31年度以来、減少傾向が見られる。
また、「楽しくない（あまり楽しくない）」と回答した児童生徒（小学校男子5.7% 女子10.8%、中学校男子6.9% 女子12.3%）については、小・中学校ともに、「できなかったことができるようになったら」、「自分のペースで行うことができたなら」、「人と比較されないようになったら」授業が楽しくなると回答している。
- 「1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒の割合」は、令和3年度と比較すると、小学校では男女ともに増加したが、平成31年度の水準にまで至っていない。また、中学校では男女ともに減少した。
- 「スクリーンタイムが2時間未満の児童生徒の割合」は、令和3年度と比較すると、小学校では男女ともに増加したが、中学校では男女ともに減少し、全国平均値を下回った。また、中学校では、平成31年度と比較すると、大きく減少している。
- 「朝食を毎日食べると答えた児童生徒の割合」は、令和3年度と比較すると、小・中学校とも男子は増加したが、女子は減少した。また、平成31年度と比較すると、小・中学校男女ともに減少している。

3 今年度の取組と課題

(1) 授業改善について

① 体力向上推進校における取組

【小学校】

- ・ 進んで運動に取り組む児童の育成
児童が自身の動きの高まりを感じることができるよう、互いの動きを見る視点を明確にし、児童同士で助言し合い、関わり合うことを重視した授業を行った。
- ・ 体力の課題に応じた準備運動の実施
今年度、全身持久力（20mシャトルラン）と走力（50m走）に課題があった。
全身持久力の向上に向け、昨年度の指定校の取組のうち、持久力の向上に成果のあった「リズム縄跳び」を準備運動に取り入れた。さらに、走力の向上に向け、サーキットトレーニングのメニューを作成し、全教員で共有した上で、年間を通して授業の中で実施した。

【中学校】

- ・ 主体的に運動に取り組む生徒の育成
生徒が運動の多様な楽しみ方を実感できるよう、保健体育の授業において、男女共習を基本とし、体力や技能の程度に関わらず、生徒同士が関わり合い、協働して取り組むことを重視した授業を行った。
- ・ 主運動との接続を図った準備運動の事例集の活用
保健体育の授業において、生徒が運動種目ごとに高まる体力を意識し、様々な体の動きを身に付けることができるよう、主運動との接続を図った準備運動の事例集（広島市教育委員会作成）を参考にして、準備運動を実施した。

② 教育委員会の取組

- ・ 5月に全小学校の体力向上推進リーダー、6月に全中学校の保健体育科教員を対象にオンライン研修会を行い、本市の児童生徒の体力の現状と、指定校の体力向上に向けた取組を周知した。また、11月及び12月に指定校による公開研究会を実施し、授業改善の具体的な取組について周知した。
- ・ 2月に希望者を対象に体力づくり講演会を行い、指定校で取り組んだ授業改善の取組を周知するとともに、プロスポーツのトレーナーによる児童生徒の発達段階に応じた効果的な運動の在り方についての講演を行った。また、全校に対しては、指定校の授業改善の取組等をまとめた報告書を令和5年4月に配付する予定である。

③ 課題

全国体力・運動能力、運動習慣等状況調査の学校質問紙によると、令和4年7月の調査時点で、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の実施」について、「行った（行う予定である）」と答えた学校が、小学校で90.9%、中学校で80.4%となっており、一定数の学校で、授業改善の取組が実施できていない実態が明らかになった。今年度は、昨年度中止した教育委員会主催の研修会や指定校による公開研究会を行うことができたが、引き続き、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善」について周知し、全校実施につなげていく必要がある。

(2) 運動習慣の定着について

① 体力向上推進校における取組

【小学校】

- ・ 全校運動の実施
児童の運動への意欲付けを図るため、体育朝会で各学年の目標回数を設定した上で、短縄跳びを実施したり、毎週火曜日の休憩時間にクラス単位で長縄跳びの記録会を行ったりするとともに、各学年の最高記録を校内に掲示した。また、活動の様子をホームページで発信し、家庭にも取組を紹介した。
- ・ 「体力アップハンドブック」の活用
昨年度に続き、各体力要素の向上をねらった運動メニューが記載された体力アップハンドブックを、第3学年から第6学年の全児童に配付し、学校だけでなく家庭でも積極的に活用するよう促し、その活用状況を評価・顕彰することなどにより、各自が日常的に目的意識を持って運動に取り組むことができるようにした。

【中学校】

・ 家庭におけるトレーニングメニューの作成と実践

生徒会を中心に、家庭でできる運動事例集（動画）を作成し、配付されたタブレットを視聴しながら、家庭で実践できるようにした。また、長期休業中には、「持久力の向上」を課題テーマとし、自己の課題に合わせたトレーニングメニュー及び目標回数等を設定し、実施後の成果や課題について振り返ることで、生徒による自主的な実践を図った。

② 教育委員会の取組

5、6月に実施したオンライン研修会において、事前アンケートで把握した運動習慣定着に向けた特色ある取組の好事例を周知し、各校の取組を促した。また、体力向上に向けた運動メニューが掲載された「体力アップ運動事例集」（令和4年3月教育委員会作成）をデータで提供し、必要に応じて児童生徒に配付できるようにするとともに、授業や授業外での活用方法について、研修会で周知した。

③ 課題

令和4年度の調査の各校における体育・保健体育の授業外での体力向上を図る取組の実施率は、令和3年度の調査結果から上昇（小学校：73.8%から83.5%、中学校：20.0%から43.5%）したものの、新型コロナウイルス感染症が流行する前の平成31年度調査の割合（小学校：97.7%、中学校：33.3%）と比較すると、小学校では以前の水準に達しておらず、中学校では上昇傾向が見られるが、取組を実施しているのは半数以下の学校であり、十分とは言えない。

4 今後の取組

体力合計点と関連があった生活習慣（一週間の総運動時間、スクリーンタイム、朝食の摂取）の改善に新たに取り組む。また、各校の授業改善並びに運動習慣の定着の取組について、PDCAサイクルによる検証がしやすくなるよう、分析シートの様式及び参考例を各校に提供する。さらに、令和5年5月に、体力向上推進担当教諭を対象に、各校の課題に応じて、分析シートを活用した体力向上の取組の推進についての研修会を行う。

(1) 授業改善について

- ・ 指定校において成果のあった「体力の課題に応じた準備運動」や「主運動との接続を図った準備運動」を全校に普及する。
- ・ 「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の実施」ができなかった学校から「具体的な実施の仕方が分からなかった」、「新型コロナウイルス感染症による運動制限から、実施ができなかった」という理由があがった。各校において、体力の課題に応じた授業改善の取組が推進されるよう、各学校の体力向上担当教諭を対象に、体力の課題ごとに準備運動が示された「体力アップ運動事例集」に記載された取組の実施方法の研修会を行い、全校に普及する。

(2) 運動習慣の定着について

- ・ 児童生徒の運動習慣の定着には、「体力アップ運動事例集」や「体力アップハンドブック」、「家庭でもできる手軽な運動事例集」の活用や、中学校の指定校で成果のあった家庭と連携した取組（家庭におけるトレーニングメニューの作成と実践）が効果的であることから、研修会を通じて、全校に普及する。

(3) 生活習慣の改善について

- ・ 体力合計点と朝食の欠食やスクリーンタイムには関連があることを、令和5年5月の研修会において説明する。また、指定校において、毎月1回、生活リズムカレンダーを活用したり、毎月10日、10オプ運動を実施したりするなど、生活習慣の改善に視点を当てた取組を行い、成果を検証し、全校に普及していく。